

## もくじ

◇全般◇ .....	1
Q1.サポート期限について .....	1
Q2.アップデート手順が知りたい .....	2
Q3.他の monoPack をアップデートする手順が知りたい .....	2
Q4.デスクトップにあるアプリケーション以外を利用したい .....	3
Q5.データの持込・持出は可能でしょうか .....	3
Q6.シャットダウンメニューが表示されず、シャットダウンできない .....	3
Q7.シャットダウン・ログアウトのボタンを押しても反応しない .....	3
Q8.一般ユーザで Firefox のメニューを操作し、証明書を入れたい .....	4
Q9.一般ユーザでログインしている状態で右上にエラー「△+！」が表示される .....	5
Q10.MacPC から接続先にて日本語入力できません .....	5
Q11.Teams で Web 会議を行いたい .....	6
Q12.Zoom で Web 会議を行いたい .....	7
Q13.ブラウザを起動すると、真っ白な画面のまま何も入力できなくなった .....	8
Q14.Windows を起動してから monoPack を挿すと、USB メモリの中身が閲覧できてしまう .....	8
Q15.音がでない（スピーカー、マイク） .....	9
Q16.Web カメラが利用できない .....	10
Q17.monoPack を最新にしたのにツール類が古いままになっている .....	10
◇画面◇ .....	11
Q1.マルチモニタで利用したい .....	11
Q2.マルチモニタでメインモニタを変更したい .....	11
Q3.ARandR（画面の詳細設定）のインストール手順 .....	12
Q4.スクリーンセーバーを解除したい .....	14
Q5.クイック設定画面が表示されない .....	15
Q6.画面の表示が小さい .....	15
◇起動◇ .....	16
Q1. USB ではなく HDD からの起動に変更したい .....	16
Q2. 自動ログインを有効化した場合、管理者でログインしたい時はどうすればいいのか .....	16
Q3. PC が BIOS 設定、UEFI 設定どちらも同じ USB（monoPack）でブート可能か .....	16

Q4.エラーが表示され、monoPack が起動しない .....	17
Q5.起動しない、USB ブートができない.....	17
Q6. Could not open "%EFI%BOOT%fallback.efi"14 のエラーが表示される.....	18
Q7.Mac から起動できない .....	18
◇ネットワーク◇.....	19
Q1. VPN 利用なしでの社外から社内 PC に接続したい .....	19
Q2. 公開されている VPN クライアントを導入したいが、ライブラリ依存関係で導入できません.....	19
Q3. MacPC で、Wi-Fi がつながらない。ネットワークアダプタが認識しない .....	19
Q4. Mac ヘリモート接続したい.....	20
Q5. ネットワークアイコンに SSID が表示されない。Wi-Fi アイコンにビックリマークが表示される	21
Q6. キーリングのロック解除画面が表示される.....	22
Q7. 1 時間おきにネットワークが切断される .....	23
Q8. VPN 接続ができない.....	23
Q9. Wi-Fi が不安定なことがある .....	24
Q10.monoPack をアップデート後に L2TP が繋がらなくなった.....	25
Q11.Wi-Fi6 について.....	25
Q12.名前解決について.....	25
◇WOL◇.....	26
Q1. 接続先の PC が起動しない .....	26
◇FortiGate 版◇.....	27
Q1.FortiGate 版とは? .....	27
Q2.FortiGate SSL-VPN のパスワード変更について.....	27
Q3.対応している FortiGate のバージョンを教えてください.....	28
◇統合管理◇.....	29
Q1. monoPack ximManager を 2 台の PC から運用管理することは可能でしょうか .....	29
Q2. 統合管理サーバから配信できる設定（ジョブ）について知りたい.....	29
Q3. 統合管理設定のアップロードできる内容について知りたい.....	29
Q4. 統合管理設定のアップロードが正常に終了しない.....	29
Q5. 統合管理設定が反映されない.....	30
Q6. 統合管理サーバに接続できない.....	30
Q7. 接続していないユーザが、ximManager 上では接続中になっている .....	30
Q8. 出荷状態に戻したい .....	30

Q9. ximManager の動作がおかしい.....	31
◇Parallels Client◇.....	32
Q1. Parallels Client アップデート手順が知りたい .....	32
Q2. 画面切替のショートカットキーが知りたい.....	32
Q3. リモート画面をフルサイズにしない方法が知りたい .....	33
Q4. 複数接続し、画面切替をして使用したい .....	33
Q5. 接続先のウィンドウタイトル名を変更したい。 .....	33
Q6. エラーが表示される。「エラー:86 RDP connection Faied」 .....	34
Q7. 一度でもセッションがタイムアウトすると、再接続できなくなる .....	34
Q8. 社外から社内の PC にリモート接続中にたまたま切断される .....	34
Q9. 前日は接続出来ていたが翌日繋がらない .....	34
Q10.誤入力などで接続できなかったときに、すぐに再接続が始まり画面を閉じることができない ....	35
Q11. ショートカットキーを多用した際に RDP がよく切れてしまう .....	35
Q12. 接続先のショートカットを作成し、Windows10 環境のログイン画面を表示させたい.....	35
Q13.ウィンドウモードにならない。[Win]+[Alt]+[M] キーが反応しない.....	35
◇リモートデスクトップ◇ .....	36
Q1.リモートデスクトップをインストールしたい .....	36
Q2. 画面切替のショートカットキーが知りたい.....	36
Q3. マルチモニタにできない .....	36
Q4. 一般ユーザで設定が保存できない.....	36
Q5. 繋がらない、接続エラーになる.....	37
◇セキュアブートについて◇.....	38
※ セキュアブートの変更について ※.....	38

## ◇全般◇

### Q1.サポート期限について

#### ■Ver.2系

Ubuntu LTS(長期サポート版)をベースOSとしており、monoPack 各バージョンのサポート期間は下記となります。

monoPack バージョン	サポート期限	ベースOS(Ubuntu LTS)バージョン
2.0.0 ~ 2.1.1.x	2023年4月	18.04 LTS
2.1.2.x ~ 2.1.4.x	2025年4月	20.04 LTS

#### ■Ver.3系

Xubuntu 通常版(半年毎リリース)をベースOSとしており、monoPack 各バージョンのサポート期間は下記となります。

※2023年12月時点

monoPack バージョン	サポート期限	ベースOS(Xubuntu)バージョン
3.0.x	2023年1月	21.04
3.1.x	2023年7月	21.10
3.2.x	2024年1月	22.04
3.3.x	2024年7月	22.10
3.4.x	2025年1月	23.04
3.5.x	2025年7月	23.10

※ ベースOSのサポート期間終了でベースOSに起因する事象についてのサポートは終了いたします。

※ ベースOSは2年周期でLTSがリリースされますが、monoPackとしてのサポート期間の長さは各バージョン同じとなります。

[トップへ](#)

## Q2.アップデート手順が知りたい

monoPackのオンラインアップデートには、下記の手順で実施してください。

### 【操作手順】

1. monoPackを起動し、管理者でログインする
2. monoPackスタートメニューから[このmonoPackをアップデートする]を選択する
3. [アップデート]をクリックする
4. 確認画面にて[OK]をクリックする

再起動後から新しいバージョンのmonoPackが起動します。

※2系から3系へアップデートする場合は、2段階のアップデートが必要になります。

(2系バージョン⇒3系へアップデートするためのバージョン⇒3系へアップデート)

詳しくはmonoPackリリースノートに記載されていますが、アップデート前には「3系へアップデート時の注意事項」を必ずお読みください。

### ◆リリースノート

<https://www.know-net.co.jp/security-support/#monopack>

## Q3.他のmonoPackをアップデートする手順が知りたい

正常に起動できるmonoPackから、下記の手順で実施してください。

※ver2系 ⇔ ver3系 での実施はできません。

### 【操作手順】

1. monoPackを起動し、管理者でログインする
2. monoPackスタートメニューから「他のmonoPackをアップデートする」を選択する
3. コピーするmonoPackを挿し、[対象情報更新]を押下し、対象デバイスをプルダウンメニューより選択する
4. 「設定はコピーしない」、「設定のみこのmonoPackと同じにする」、「設定とバージョン等、全てこのmonoPackと同じにする」のいずれかを選択して実行する

[トップへ](#)

## Q4.デスクトップにあるアプリケーション以外を利用したい

monoPackはユーザカスタマイズ可能な製品ですので、Linux（Ubuntu）に対応しているアプリケーションでしたらインストールしてご利用いただけます。

インストールしたアプリケーションにつきましては、サポート対象外となりますので、ご了承ください。

※障害が発生した場合、ユーザカスタマイズされた部分に起因するものと弊社が判断した場合は、切り戻しをお願いすることがあります。

## Q5.データの持込・持出は可能でしょうか

一般ユーザは、データの取り扱いに関して制限されていますので、接続先からのデータ持込、接続先へのデータ持出はできません。

monoPack（接続元）に対しても同様になります。

## Q6.シャットダウンメニューが表示されず、シャットダウンできない

一旦PCの電源を長押しして強制終了してください。

monoPack2.1.1.0以降は改善されていますので、monoPackのアップデートをお願いします。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q7.シャットダウン・ログアウトのボタンを押しても反応しない

一旦PCの電源を長押しして強制終了してください。

monoPack2.1.0.2以降では改善されていますので、それより前のバージョンの場合アップデートをお願いします。

monoPack2.1.0.2以降の場合、アップデート または、設定を初期化することで改善するかお試しください。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

[トップへ](#)

## Q8.一般ユーザでFirefoxのメニューを操作し、証明書を入れたい

デフォルトで用意されたFirefoxでは、メニュー等の機能を制限しており、一般ユーザでログインした状態では証明書をインストールすることはできません。

管理者権限で起動することで、一般ユーザのFirefoxを設定可能なモードで起動することができますので、下記の手順をお試しく下さい。

### 【一般ユーザ Firefox の設定変更】

※バージョンにより手順が異なります

1. monoPackを起動し管理者でログインする
2. monoPackスタートメニューからコマンドプロンプトを起動し、下記コマンドを実行する

※ バージョン2.1.0.2までは、下記2行を実行

- `rm -rf /home/user/.mozilla/firefox`
- `mv -T /home/user/.mozilla/firefox.RO /home/user/.mozilla/firefox`

※ ここからは共通になります

- `xhost +`
- `su user`
- `firefox --safe-mode`

3. 「Firefox セーフモード」画面の[セーフモードで起動]を選択する

### 【証明書のインストール方法】

1. Firefoxの[メニュー]アイコン-[設定]を選択する
2. 設定画面から右側の[プライバシーとセキュリティ]を選択し[証明書を表示(C)]ボタンを押下する
3. 証明書マネージャ画面が表示されるので、[あなたの証明書]タブを開き一覧に証明書が登録されていることを確認する
4. 証明書を選択し、[表示(V)]ボタンを押下する
5. 証明書ビューアのダイアログボックスが表示されるので、[一般(G)]タブを開き[この証明書は以下の用途に使用する証明書であると検証されました。]と表示されることを確認する
6. [詳細(D)]タブを開き、ルートCA証明書からクライアント証明書までのチェーンが繋がっていることを確認してください

## Q9.一般ユーザでログインしている状態で右上にエラー「△+！」が表示される

The update information is outdated. This may be caused by network problems or by a repository that is no longer available.

Please update manually by selecting 'Show updates' from the indicator menu, and watching for any failing repositories.

メッセージはベースOSのUbuntuアップデートの通知です。表示されていても問題はありません。monoPack2.1.0.2にて、不要な通知の非表示化対応をしていますので、アップデートをお願いします。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q10.MacPCから接続先にて日本語入力できません

MacPCからWindows環境へリモートデスクトップ接続した際に、日本語入力できないことがあります。

接続先のWindows環境よりIMEオン/オフの切り替えをお試しください。

[言語バー] -> [プロパティ] -> [詳細設定] ボタン -> [編集操作] -> [変更]ボタン

また、monoPack側では日本語キーボードの設定をしていますので、下記手順にて「英語」の設定を追加して解消するか併せてお試しください。

### 【操作手順】

1. monoPackメニューバーのキーボードアイコンを右クリックし、「設定」を選択する
2. 下方の[+]を押下⇒「入力メソッドの追加」画面より「英語」を選択⇒[OK]を押下する  
該当するものがない場合は、[+]と同列右側のキーボードアイコンを押下し、該当するものを選択後に、[+]を押下することで、選択内容が増えます
3. 入力メソッドの設定画面を閉じる
4. monoPackメニューバーのキーボードアイコンを右クリックし、「入力メソッド」⇒ 追加した「英語」を選択する

[トップへ](#)



## Q11.TeamsでWeb会議を行いたい

2022年12月にLinux版Teamsが廃止されたため、monoPackにアプリケーションをインストールして利用することができなくなりました。

代替策として、monoPackにGoogle Chromeをインストールして、ブラウザ版Teamsのご利用が可能です。

※サポート対象外となりますので、ご注意ください。

[トップへ](#)

## Q12.ZoomでWeb会議を行いたい

monoPackに直接インストールすることでご利用可能です。

※サポート対象外となりますので、ご注意ください。

※Zoom経由で、ファイルマネージャの参照が可能になるため注意が必要です。

一般ユーザで利用した場合でも、ファイルのアップロード、ダウンロードが可能になります。

### 【操作手順】

1. monoPackを起動し、管理者でログインする
2. ブラウザを起動し、下記のページにアクセスする  
<https://zoom.us/download?os=linux>
3. 下記を選択し、ダウンロードボタンを押下しファイルを保存する  
Linuxタイプ : Ubuntu  
OSアーキテクチャ : 64ビット  
バージョン : 16.04+
4. コマンドプロンプトを起動し下記のコマンドを実行する
  - `cd /root/ダウンロード`
  - `apt update`
  - `apt install ./zoom*.deb`
5. 続行しますか? →[y]を入力し、Zoom をインストールする
6. 下記のいずれかの方法で起動する
  - ・ コマンドプロンプトに「zoom」と入力
  - ・ ブラウザからZoom会議開始でアプリが起動
  - ・ ショートカットキーを作成して実行

### <管理者の場合>

- `cp -a /usr/share/applications/Zoom.desktop /root/デスクトップ/`

### <一般ユーザの場合>

- `cp -a /usr/share/applications/Zoom.desktop /home/user/デスクトップ/`

デスクトップに配置されたアイコンをダブルクリックで起動が可能になります。

## Q13.ブラウザを起動すると、真っ白な画面のまま何も入力できなくなった

Firefoxの仕様変更による自動アップデートの影響で、一般ユーザでのブラウザ表示が不正となっている状態になります。

monoPack2.1.0.2にて、改善されていますのでアップデートをお願いします。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q14.Windowsを起動してからmonoPackを挿すと、USBメモリの中身が閲覧できなくなる

Windowsを起動中にmonoPackは挿さないようお願いします。

見えているファイルは起動時に利用するファイルで、誤って編集するとPCによりmonoPackが起動できなくなります。

その場合には、メーカーでの修理が必要になりますのでご注意ください。

[トップへ](#)

## Q15.音がでない（スピーカー、マイク）

下記をご確認ください。

### 【接続先PCのWindowsの設定】

RemoteFX USBデバイスのリダイレクトについてご確認ください。

### 【monoPackの設定】

monoPackスタートメニューの「サウンドの設定」より各設定をご確認ください。

[出力装置]タブのスライダーを動かすことで音が鳴るか確認できます。

※monoPack2.1.1.3以前の場合、スライダーを動かしても音は鳴りません。

### ■リモートデスクトップツールをご利用の場合

「その他オプション」に「/sound」を追記してください。

マイクご利用の際は、「/microphone」を追記します。

### ■Parallels Clientをご利用の場合

該当する接続を右クリックし、[接続プロパティ]->[ローカルリソース]タブにて下記をご確認ください。

- ・ Remote audio playback
- ・ デバイス

### ■Remminaをご利用の場合

該当する接続を右クリックし、[編集]->[高度な設定]タブにて下記をご確認ください。

- ・ サウンド
- ・ Redirect local microphone

※ 各ハードウェアへの対応につきましては、ベースOSとなるLinux(Ubuntu)のドライバの対応状況に依存します。

USB・内蔵に問わず、最新機器などではベースOSのドライバがハードウェアに対応していない場合があります。

[トップへ](#)

## Q16.Webカメラが利用できない

UVC規格対応のウェブカメラであれば、特別なドライバを必要とせず、接続するだけで利用できる可能性が高いです。

認識されているか確認する方法としては、ウェブ上に動作確認が行えるサイトがいくつかありますのでお試しください。

### 【接続先PCのWindowsの設定】

RemoteFX USBデバイスのリダイレクトについて設定されているかご確認ください。

### 【monoPackの設定】

#### ■ Parallels Clientをご利用の場合

該当する接続を右クリックし、[接続プロパティ]->[ローカルリソース]タブにて下記をご確認ください。

・デバイス

#### ■ リモートデスクトップをご利用の場合

現時点でご利用いただけません。

※ 各ハードウェアへの対応につきましては、ベースOSとなるLinux(Ubuntu)のドライバの対応状況に依存します。

USB・内蔵に問わず、最新機器などではベースOSのドライバがハードウェアに対応していない場合があります。

## Q17.monoPackを最新にしたのにツール類が古いままになっている

monoPackのバージョンと、ツールのバージョンの関連はありません。

出荷状態で特定バージョンのインストールはしておりますが、ツールの最新等、異なるバージョンをインストールしたい場合は、お客様カスタマイズによりご対応いただくこととなります。

[トップへ](#)

## ◇画面◇

### Q1.マルチモニタで利用したい

モニタを接続後にmonoPackスタートメニューの「ディスプレイの設定」にて各設定を行います。デフォルト同士は複製表示になりますので、「ディスプレイの設定」の「位置」にてモニタの表示位置を変更することで拡張表示に変わります。

「位置」がグレーアウトされている場合は、接続ケーブルの種類、接続モニタを変更してお試しください。変化がない場合は、「ARandR」ツールをインストールすることで可能になります。

[【ARandRインストール手順】](#) 参照

または、monoPackを3系へバージョンアップすることで詳細な設定も可能になります。

リモート接続後にマルチモニタが利用できない場合は、接続ツールにてマルチモニタの設定がされているかご確認ください。

なお、monoPack 2.1.0.1以前では、ご利用になる接続ツールにより認識できない場合があります。

### Q2.マルチモニタでメインモニタを変更したい

モニタを接続後にmonoPackスタートメニューの「ディスプレイの設定」にて各設定を行います。「ディスプレイの設定」の「位置」がデフォルトとなっている方がメインモニタになります。デフォルトがもう一方のモニタへ変更できない場合は、「ARandR」というツールをインストールすることで可能になります。

[【ARandRインストール手順】](#) 参照

または、monoPackを3系へバージョンアップすることで詳細な設定も可能になります。

[トップへ](#)

## Q3.ARandR（画面の詳細設定）のインストール手順

ARandRをインストールすることで、画面の詳細な設定が可能になります。

※ ユーザカスタマイズ扱いになり、動作保証はいたしかねます。

1. 管理者でログインし、monoPackスタートメニューより「コマンドプロンプト」を選択する
2. 下記コマンドを実行
  - apt update
  - apt install arandr
3. インストールされた ARandR をmonoPackスタートメニューに追加する

(1) 編集するファイル (vi または leafpad で編集)

<管理者>

```
/root/.config/lxpanel/LXDE/panels/panel
/root/.config/lxpanel/LXDE/panel-IMDISABLE
/root/.config/lxpanel/LXDE/panel-IMENABLE
```

<一般ユーザ>

```
/home/user/.config/lxpanel/LXDE/panels/panel
```

(2) 追加する内容 (管理者/一般ユーザ共通)

任意の位置に追加可能ですが、既存の「ディスプレイの設定」付近に配置することを推奨します。

----ここから

```
item {
name=ディスプレイの詳細設定
image=display
action=sh -c "pgrep arandr || arandr"
}
```

----ここまで

(3) 編集したファイルを保存後、monoPackを再起動する

(4) 再ログインし、monoPackスタートメニューの「ディスプレイの詳細設定」を選択する

(5) [モニター]タブにて各設定をし、チェックマークをクリックして適用する

・アクティブ : 「ディスプレイの設定」の「オンにする」に該当

- ・ Primary : メイン画面の設定
- ・ 解像度
- ・ 向き : ノーマル、右、左、逆さま

#### (6) その他の使い方

表示されているモニタ（HDMI-1やeDP-1などの）をマウスでドラック&ドロップすることで、モニタの表示位置を変更可能

[レイアウト]タブより、レイアウトの設定は名前を付けて保存できる

※ 使い方についてのマニュアルのご用意はありません。

[トップへ](#)



## Q4.スクリーンセーバーを解除したい

monoPackの機能ではなく、Ubuntuのスクリーンセーバー機能により、[Win]+[L]を押下した場合、ノートPCの蓋を閉じた場合、無操作で一定時間経過した場合に表示されます。

### 【スクリーンロック無効スクリプト作成手順】

1. 管理者でログインし、monoPackスタートメニューのファイルマネージャから下記に移動する

<管理者>

/root/.config/autostart

<一般ユーザ>

/home/user/.config/autostart

2. 右クリック -> [新規作成] -> [空のファイル]を選択し、「スクリーンロック無効.desktop」ファイルを作成する

(ファイル名の指定はありませんので、わかりやすい名前を付けてください)

3. スクリーンロック無効.desktop を右クリックし、Leafpadにて下記内容を追記後保存する

<管理者の場合>

-----

[Desktop Entry]

Type=Application

Exec= gsettings set org.gnome.desktop.lockdown disable-lock-screen true

-----

<一般ユーザの場合>

-----

[Desktop Entry]

Type=Application

Exec=sudo u user H dbus-launch gsettings set org.gnome.desktop.lockdown disable-lock-screen true

-----

[トップへ](#)

## Q5.クイック設定画面が表示されない

PC本体、モニタなどの要因で、クイック設定画面が表示されない場合があります。  
クイック設定画面が表示されない場合でも、ディスプレイの設定画面にて同等の設定が可能ですので、ディスプレイの設定画面をご利用ください。

## Q6.画面の表示が小さい

monoPackスタートメニューの「ディスプレイの設定」にて、解像度を変更してください。  
また、monoPackを最新にすることで解消する可能性もあります。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

[トップへ](#)

## ◇起 動◇

### Q1. USBではなくHDDからの起動に変更したい

「社内規則でUSBが利用できない」「またはHDD内のOSを利用しない専用機として利用したい」というご要望のユーザ様向けに、ハードディスク内蔵版をご用意しております。

こちらはPCのハードディスクをクリーンアンインストールした後monoPack化しますので、WindowsOSは残りません。

USBとの機能差はありません。

なおmonoPackハードディスク版は統合管理機能が必須になります。

USBのインストーラーでのご提供になります。

詳しくはサポートまでお問合せください。

### Q2. 自動ログインを有効化した場合、管理者でログインしたい時はどうすればいいのか

自動ログイン後、monoPackスタートメニューから [シャットダウン] -> [ログアウト] を選択することで、ログイン画面が表示されますので管理者でのログインが可能になります。

また、一般ユーザではなく管理者として自動ログインをご希望の場合には、monoPackの機能として提供はしていませんが、Linuxの機能で実現可能です。

自動ログインを有効にした状態で、下記コマンドを実行することで自動ログインするユーザを変更できます。

```
➤ sed s/autologin-user=.*/*autologin-user=[rootまたはuser]/g -  
i/etc/lightdm/lightdm.conf-AUTO-LOGIN
```

### Q3. PCがBIOS設定、UEFI設定どちらも同じUSB（monoPack）でブート可能か

BIOS設定でもUEFI設定でもご利用可能です。

起動できない場合には、PC端末のセキュアブート機能ではじかれている可能性がありますので、BIOS/UEFI設定からセキュアブートが無効になっているかご確認ください。

※ セキュアブートを変更する場合は注意が必要です。[【セキュアブートの変更について】](#)をご一読ください。

[トップへ](#)

## Q4.エラーが表示され、monoPackが起動しない

ファイル破損している等、何かしらの要因で起動処理が途中で止まっている状態と考えられます。

### 1. 他のPC（別機種）でも起動しないかご確認ください。

特定のPCで発生している場合は、セーフモードが原因の可能性があります。

セーフモードは、何らかの要因でフラグとなるファイルがシャットダウン時に残存した場合、次回起動時に自動的に移行します。

見分け方としては、通常状態よりも解像度が下がった状態で起動します。

機種によってはセーフモードとの相性が悪く、起動しないことがあります。

その場合は起動可能な別のPCで起動することにより解除され、次回の起動より元通り利用できます。

※monoPack2.1.3.1にて、セーフモード起動機能の削除対応をしていますので、起動可能なPCでアップデートをお願いします。

[【アップデート手順が知りたい】](#) 参照

### 2. 正常に起動できるmonoPackを利用し、当該monoPackを初期化することで起動できるようになるかご確認ください。

下記を参照し、「設定とバージョン等、全てこのmonoPackと同じにする」を選択してください。

[【他のmonoPackをアップデートする手順が知りたい】](#) 参照

上記で解決しない場合は、サポートまでお問い合わせください。

※ Windows起動中にmonoPackを挿して誤操作することで、起動不可になってしまったとのお問い合わせが増えております。Windows起動中にはmonoPackを挿さないようお願いします。

## Q5.起動しない、USBブートができない

PC端末のセキュアブート機能ではじかれている可能性があります。BIOS/UEFI 設定にてセキュアブート機能が有効になっている場合、無効に変更して利用できるかご確認ください。

※ セキュアブートを変更する場合は注意が必要です。[【セキュアブートの変更について】](#) をご一読ください。

[トップへ](#)

## Q6. Could not open "¥EFI¥BOOT¥fallback.efi"14 のエラーが表示される

システムがEFIモードで起動していたことを示しています。

BIOSメニューで[Legacy Support]を[Enable]に設定して起動するかお試しください。

また、monoPackをアップデートすることで起動する可能性がありますのでお試しください。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

上記で解決しない場合、monoPackのベースOSとしている Linux(Ubuntu)が、当該機種ハードウェアに対応していないものと思われます。

基本的にはUSBブートで Linux(Ubuntu)を起動できるハードウェアであれば利用できますが、比較的新しい機種では内蔵機器によってはベースOSがまだ対応しておらず、起動しない または一部の機能が利用できない場合があります。

## Q7. Macから起動できない

下記の手順をお試しください。

1. 起動セキュリティユーティリティの設定にて下記を選択する

安全な起動：セキュリティなし

外部起動：外部メディアからの起動を許可

2. monoPackをPCに接続し、起動ディスクを選択する

システム環境設定の起動ディスクより、[EFI Boot]を選択

または

[option]キーと電源ボタンを同時に押下してMacを起動し、[EFI Boot]を選択する

[トップへ](#)

## ◇ネットワーク◇

### Q1. VPN利用なしでの社外から社内PCに接続したい

下記の様な構成が必要になります。

- ・社内PCへグローバルIPで接続可能
- ・拠点同士がVPNや専用線で同一セグメント上に存在し、ローカルIPで接続可能

RDP利用するために必ずVPNで接続する前提ではありませんが、社内PCを参照できる経路については確保する必要があります。

グローバルIPでアクセスする場合は、会社側のルーター等でポートマッピングが必要です。

それによりグローバルIPで会社側PCが参照可能な状態になりますが、設定方法につきましてはサポート対象外となります。

また、グローバルIPでアクセス可能な状態にすることは、PC乗っ取りなどの危険性がありますのでお勧めできません。

### Q2. 公開されているVPNクライアントを導入したいが、ライブラリ依存関係で導入できません

依存関係でインストールが失敗した場合は、コマンドを実行することで、必要なライブラリがインストールされます。

#### 【操作手順】

1. コマンドプロンプトにて下記のコマンドを実行する

- apt update
- apt install --fix-broken

2. 必要に応じてリポジトリに追記する

/etc/apt/sources.list

### Q3. MacPCで、Wi-Fiが繋がらない。ネットワークアダプタが認識しない

monoPackはLinux (Ubuntu) をベースとした製品ですが、一部のMac製品でLinux未対応のためLinuxの対応待ちになっています。

有線LANは利用可能です。

ベースOSのバージョンアップ、OSカーネルアップデートにより対応する可能性もありますので、アップデートをお願いします。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

[トップへ](#)

## Q4. Macへリモート接続したい

VNCクライアントが必要ですが、monoPackにはデフォルトでインストールされていないので、ユーザーによるインストールが必要になります。

VNCクライアントはいくつか種類がありますが、remminaのインストール手順をご案内します。

※ VNCはRDPの様なレスポンスは期待できませんのでご注意ください。

### 【操作手順】

あらかじめ、接続先Mac側の画面共有設定を行ってください。

《参考サイト》

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mh11848/mac>

1. monoPackを起動し、管理者でログインする
2. コマンドプロンプトを起動し、下記のコマンドを実行する
  - apt update
  - apt install remmina
3. ファイルマネージャを開き下記に移動する  
/usr/share/applications
4. remmina を /home/user/デスクトップ にコピーする

### 【利用方法】

1. monoPackを起動し、一般ユーザでログインする
2. remmina を起動する
3. +マークをクリックし、プロトコル選択をVNCに設定し接続先情報を入力する
4. Save and Connect で接続する
  - ※次回以降の接続時には一覧に表示され、ダブルクリックで接続が可能です。
  - 尚、VNCはRDPの様なレスポンスは期待できませんのでご注意ください。

[トップへ](#)

## Q5. ネットワークアイコンにSSIDが表示されない。Wi-Fiアイコンにビックリマークが表示される

主な原因として、下記が挙げられます。

### ①デバイスのWi-Fi接続設定

Wi-Fi接続時にデバイスの設定で問題がある場合、ビックリマークが表示されうまくインターネットに接続されません。

### ②通信機器の使用環境

デバイスの設定が正しくても、電波がしっかり届かない環境だとビックリマークが表示される原因になります。

### ③Wi-Fiルーター

Wi-Fiルーター本体で起こっている問題がビックリマーク表示の原因になっている可能性があります。

### ④セキュアブート

セキュアブートが有効になっている影響で、Wi-Fiが利用できない場合があります。

### ⑤ベースOSとなるLinux(Ubuntu)が当該ハードウェアに対応していない可能性があります。

Wi-Fiアイコンにビックリマークが表示された場合、下記の方法をお試しください。

#### 【操作手順】

#### 1. PCでWi-Fiをオンオフする

Wi-Fiのオンオフをするだけでも、通信が安定することがあります。

#### 2. Wi-FiのSSID・パスワードを確認する

#### 3. SSIDやパスワードのスペルが1文字でも違っていると、Wi-Fiに接続することはできません。

#### 4. Wi-FiのIPアドレスを確認する

複数のデバイスで、同一のIPアドレスが割り振られているとビックリマークが表示される可能性があります。

#### 5. ルーターを再起動する

デバイスのWi-Fi設定に問題がない場合、一時的なバグや不具合が発生している可能性があります。再起動することで、一時的なバグなどは解消されることがほとんどです。

#### 6. ルーターをアップデートする

ルーターのシステムは、バグや不具合が修正されている最新のものにアップデートされていないと、システム上のトラブルから通信の問題が発生する可能性があります。

#### 7. 同時に接続している端末数を減らす

同時に複数のデバイスが、Wi-Fiルーターにアクセスしているために、ひとつのデバイスが受信する電波が弱くなっている可能性があります。

#### 8. Wi-Fiルーターの置き場所を変える

#### 9. 壁などを使って現在より高い位置にルーターを設置したり、できるだけ部屋の中心部にWi-Fiルーターの設置場所を変えると、より強い電波で送受信ができるようになる可能性があります。



## 10. Wi-Fiルーターの使用周波数を変更する

同時に接続している端末数を減らしても通信環境が改善されない場合、使用する周波数をご変更ください。一部の無線LANモジュールは、monoPack(Linux)で2.4GHzのみ動作可能となる場合があります。

## 11. PCのBIOS設定にて、セキュアブート機能が有効になっている場合、無効に変更することで、ネットワークデバイスが認識する可能性があります。

※ セキュアブートを変更する場合は注意が必要です。[【セキュアブートの変更について】](#)をご一読ください。

## 12. Windowsの高速スタートアップの設定が有効になっている場合は、無効に変更することでネットワークデバイスが認識できるようになる可能性があります。

## 13. monoPackをアップデートすることで解消する可能性があります。

[【アップデート手順が知りたい】](#) 参照

## Q6. キーリングのロック解除画面が表示される

monoPackログイン画面で入力しているパスワードで解除できます。

monoPackのベースOSとなるLinux(Ubuntu)において、ネットワーク関連のタイミングで表示されるようです。

現時点で表示させない方法はありません。

「新しいキーリングのパスワード指定」画面にて、キーチェーンパスワードを未入力で続行することでパスワード入力を省略させることができます。

パスワード未入力で省略した場合には、設定内容が平文で保存され、任意のパスワードを設定した場合は、暗号化で保存されます。

[トップへ](#)

## Q7. 1時間おきにネットワークが切断される

使用するDHCPクライアントを、Ubuntu 20.04デフォルトの「internal」から「dhclient」に変更することで解消する可能性があります。

※monoPack対象バージョン：2.1.2.0 ～

### 【操作手順】

1. 管理者でログインし、monoPackスタートメニューからファイルマネージャを起動する
2. 下記フォルダに移動し、右クリック -> 新規作成 -> 空のファイル -> 「dhcp-client.conf」と入力して[OK]をクリックする  
/etc/NetworkManager/conf.d/

3. 作成したファイルを右クリックして「Leafpad」で開き、下記を記述後保存する

```
-----  
[main]  
dhcp=dhclient  
-----
```

4. monoPackを再起動する

※コマンドプロンプトにて「cat /var/log/syslog | grep dhcp」を実行することでご利用DHCPクライアントの確認ができます。

～

```
dhcp-init: Using DHCP client '*****' (⇒***** : internal or dhclient)
```

～

## Q8. VPN接続ができない

インターネットには繋がっていてもVPNに繋がらない場合、一般的な対処法から切り分ける必要があります。

- ・設定内容を確認する
- ・monoPackを再起動する
- ・ルーターを再起動する
- ・VPNパススルーなどの機能がルーター側にある場合は有効にする

## Q9. Wi-Fiが不安定なことがある

未使用の設定は無効に、Wi-Fi電源管理を無効にすることで安定する可能性があります。

### 1. IPv6を未使用の場合は、「自動」から「無視」へ変更

- (1) monoPackメニューバーの右側にあるネットワークアイコンをクリックする
- (2) 接続を編集する ⇒ 該当のWi-Fiを選択 ⇒ 歯車アイコンをクリックする
- (3) [IPv6設定]タブの[Method]を「自動」⇒「無視する」または「無効」に変更する

### 2. 上記1 に加え、コマンドにてIPv6を無効に設定

(1) 管理者でログインし、monoPackスタートメニューよりファイルマネージャを選択し、`/etc/sysctl.conf` を「Leafpad」で開く

(2) 下記を任意の行に入力し、保存する

```
net.ipv6.conf.all.disable_ipv6 = 1
```

```
net.ipv6.conf.default.disable_ipv6 = 1
```

```
net.ipv6.conf.lo.disable_ipv6 = 1
```

(3) monoPackを再起動する

※ IPv6が無効となったか「コマンドプロンプト」にて下記を入力し、該当する接続に「inet6」の表示がないかご確認ください。

➤ `ip a`

### 3. Wi-Fiの電源管理を「有効」から「無効」へ変更

(1) monoPackスタートメニューからファイルマネージャを選択する

(2) 下記ファイルを右クリックして「Leafpad」で開く

```
/etc/NetworkManager/conf.d/default-wifi-powersave-on.conf
```

(3) 下記の箇所を「3」から「2」に変更する

```
[connection]
```

```
wifi.powersave = 2
```

(4) 下記を追加し、保存する

```
[device]
```

```
wifi.scan-rand-mac-address=no
```

(5) 再起動する

### 4. 有線LANと無線LANを同時に有効にしない

LANケーブルを挿したい場合は、monoPackメニューバーの右側にあるネットワークアイコンをクリックし、「Wi-Fiを有効にする」のチェックを外す  
逆にWi-Fiを有効にしたい場合は、LANケーブルは抜く

## Q10.monoPackをアップデート後にL2TPが繋がらなくなった

monoPack2.1.1.5以前からアップデートしたことで既存のL2TP設定が接続できなくなった場合は、既存のL2TP設定の編集で「IPsec Settings」⇒「Advanced」の「Phase1 Algorithms」と「Phase2 Algorithms」の両設定値を空にして接続できるようになるかお試しください。

## Q11.Wi-Fi6 について

monoPack2.1.4.1までの時点では、標準で対応しておりませんが、ドライバをインストールすることで利用できる可能性があります。ドライバについては、各メーカーのHP等をご参照ください。

解決しない場合は、有線接続、または、Linuxに対応している無線子機をご検討ください。

## Q12.名前解決について

ホスト名で端末にRDPアクセスする場合、monoPackではDNSに登録されていなくても、ホスト名とIPアドレスを紐づけすることにより、ホスト名での接続が可能です。

### 【操作手順】

1. monoPackを起動し、管理者でログインする
2. monoPackスタートメニューからファイルマネージャを開く
3. 下記ファイルを右クリックしLeafpadで開く

/etc/hosts-IVEX

※存在しない場合は、作成してください

4. [サーバのIPアドレス] [サーバ名] を追記し、保存する

上記ファイルに必要な情報を追記することで、再起動後適用されます。

monoPackは、起動時に /etc/hosts の一部をmonoPackを起動したPCに合わせて書き換える処理を行っております。

そのため、/etc/hosts そのものではなく、書き換え時にベースとして参照している上記ファイルを編集する必要があります。

また、DHCPご利用の場合は、IPアドレスを固定にすることで解消する可能性があります。

[トップへ](#)

## Q1. 接続先のPCが起動しない

- ・ 接続先PCのBIOSの設定、Windowsネットワークアダプタの設定を再度ご確認ください。
- ・ WOL BOXのデフォルトゲートウェイが正しく設定されているかご確認ください。
- ・ 接続先PCの「高速スタートアップ」が無効化されているかご確認ください。

Windowsのメジャーバージョンアップにより、自動的に「高速スタートアップ」が有効に戻ってしまったり、LANドライバが更新され(巻き戻され)て、WOLに対応できなくなったりする場合があります。

- ・ monoPackを最新へアップデートしてお試しください。

上記で解決しない場合、PCメーカーへお問い合わせください。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

[トップへ](#)

## ◇FortiGate版◇

### Q1.FortiGate版とは？

FortiGate版ではVPNクライアントにopenfortivpnを使用したSSL-VPN接続ツールを搭載しています。下記のとおりmonoPack通常版がベースとなっています。

※ベースのmonoPack通常版とサポート期限は同じになります。

※2024年1月時点

FortiGate版 バージョン	ベースの monoPack	openfortivpn バージョン
v1.0.0	v2.1.1.2	1.14.1
v1.1.0	v2.1.2.1	1.14.1
v1.2.0	v2.1.3.1	1.14.1
v1.3.0	v2.1.4.0	1.14.1
v1.4.0	v2.1.4.2	1.14.1
v3.0.0	v3.0.0	1.15.0
v3.1.0~3.1.2	v3.1.0	1.17.1
v3.2.0	v3.2.0	1.17.3
v3.3.0	v3.3.0	1.19.0
v3.4.0	v3.4.0	1.20.5
v3.4.1	v3.4.1	1.20.5
v3.5.0	v3.5.0	1.21.0

※FortiGateと接続する場合は、monoPack FortiGate版のご利用を推奨しております。

### Q2.FortiGate SSL-VPNのパスワード変更について

FortiGateにてパスワード期限の設定をしている場合、monoPackで導入しているopenfortivpnでは対応していないため、パスワード変更の画面は表示されません。

パスワードを変更する場合は、FortiGateにログインして変更することになります。

FortiGate側のパスワード変更後、monoPackの「FortiGate SSL-VPN接続ツール」にて「FortiGate SSL-VPN設定」のパスワードも変更してください。

または、パスワード期限を設定しない運用にて回避してください。

[トップへ](#)

### Q3.対応しているFortiGateのバージョンを教えてください

弊社で接続確認済みのバージョンは下記になります。

確認していないバージョンでも接続できる可能性がありますので、実際のご利用環境にてお試しください。

※2024年2月時点

FortiGate版 バージョン	openfortivpnバージョン	接続確認済み FortiGateバージョン
1.0.0	1.14.1	6.4.4、6.2.5、6.2.3
1.1.0 ~ 1.4.1	1.14.1	7.2.7、7.2.6、7.2.5、6.4.4、6.2.5、6.2.3
3.0.0	1.15.0	7.2.5、6.4.4
3.1.0 ~ 3.1.2	1.17.1	7.2.5、7.0.6、6.4.4
3.2.0	1.17.3	7.2.7、7.2.6、7.2.5、7.2.3、7.0.9、7.0.8、7.0.6
3.3.0	1.19.0	7.2.7、7.2.6、7.2.5、7.2.3
3.4.0 ~ 3.4.1	1.20.5	7.2.7、7.2.6、7.2.5、7.2.3
3.5.0	1.21.0	7.2.7、7.2.6

[トップへ](#)

## ◇統合管理◇

### Q1. monoPack ximManagerを2台のPCから運用管理することは可能でしょうか

基本的には1台でご利用いただく想定となっております。

例えば片方のximManagerからDBが更新される操作をした場合、もう一方ではリアルタイムにその内容を把握することができません。

画面遷移等でDBとの通信があればその後は更新された状態にはなります。

ライセンス上は特に問題ありません。

### Q2. 統合管理サーバから配信できる設定（ジョブ）について知りたい

基本的には「統合管理設定のアップロード」にて統合管理サーバにアップロードされた設定が配信（反映）されます。

VPN接続プロファイルについては、全ユーザ共通でしたら配信可能です。

RDP接続設定については、接続先情報は、暗号化/復号化しているので、配信することはできません。リモートデスクトップツールでは「その他オプション」のみ配信可能です。

### Q3. 統合管理設定のアップロードできる内容について知りたい

出荷状態からの差分がアップロードされます。

ただし、管理者のメニュー設定、一般ユーザのメニュー設定、起動設定は、アップロードされません。

それ以外のファイルで、変更、作成されたものに関して、ほぼ全てのファイルがサーバにアップロードされ、配信することが可能です。（暗号化されるものは配信できません）

起動しただけでもログファイルが作成され、音量を変更すると音量の設定ファイルが作成、または、更新されますので、アップロードした際の変更内容がジョブの配信で反映されます。

ただし、統合管理設定よりローカルで保存された設定が最優先されます。

### Q4. 統合管理設定のアップロードが正常に終了しない

統合管理設定のアップロード元となるmonoPack（マスタ）には、統合管理設定を配信しないでください。マスタに配信すると正常にアップロードができなくなります。

配信してしまった場合は、マスタを初期化して出荷状態に戻した後に、再設定しアップロードを実施してください。

[【出荷状態に戻したい】参照](#)



## Q5. 統合管理設定が反映されない

ローカル（配信先）で更新している場合は、ローカルが最優先されます。

※ リモート接続情報については配信されません。（リモートデスクトップツールの場合は、「その他オプション」のみ配信可能です。）

ローカル（配信先）のmonoPackを管理者でログインし、monoPackスタートメニューの「設定を初期化する」にて初期化後、再度設定を配信してご確認ください。

## Q6. 統合管理サーバに接続できない

下記をご確認ください。

1. 統合管理サーバのURLをブラウザに貼り付けて接続できるか  
接続可能な場合は、「Welcome to ximServer」と表示されます
2. 時間を少しおいて、もう一度確認して接続できるか
3. 統合管理サーバのURL入力について、末尾にスラッシュが入っていないか
4. 統合管理サーバのURLの数字部分（「1」、「2」、「3」のいずれか）を変更して接続できるか
5. 貴社環境のネットワークの設定（プロキシ、ファイアウォールなど）は関係していないか

## Q7. 接続していないユーザが、ximManager上では接続中になっている

ユーザー一覧の接続終了日時は、シャットダウンメニューから[シャットダウン]押下で終了した場合のみ記録されます。

それ以外の場合（ログアウトやログイン画面右上からのシャットダウン）では、記録されませんので、これらで終了した場合ximManager上は接続中の表示になります。

※v3.3.0以降では、ログアウトの場合でも記録されます。

## Q8. 出荷状態に戻したい

管理者でログインし、monoPackスタートメニューより下記手順にて、出荷状態に戻すことができます。

### 【操作手順】

1. 「コマンドプロンプト」にて「rmconf」コマンドを実行する（配信された設定が削除される）
2. 「設定を初期化する」を実施する（ユーザ領域が削除される）

## Q9. ximManagerの動作がおかしい

ximManagerが起動しない、「一覧情報が正しく取得できなかったため前の画面に戻ります」というメッセージが表示される など、正常に動作しない場合には、ximManagerをリセットすることで改善できる可能性があります。

### 【操作手順】

1. Windowsスタートメニューを右クリックして、「アプリと機能」を開く
2. 「ximManager」->「詳細オプション」を選択する
3. 「リセット」ボタンをクリックする

[トップへ](#)

## ◇Parallels Client◇

### Q1. Parallels Clientアップデート手順が知りたい

アップデートの手順は下記のとおりです。

#### 【操作手順】

1. monoPackを起動し、管理者でログインする
2. ブラウザを起動し、下記のページにアクセスする  
<https://www.parallels.com/jp/products/ras/download/client/>
3. Linuxをクリックし、リスト最上段の「Linux Client - DEB 64-bit」よりダウンロードする
4. ファイルマネージャを開き下記に移動する  
/root/ダウンロード
5. [F4]キーまたはツールバーの[ツール] -> [現在のフォルダを端末で開く] を選択する
6. 開いたコマンドプロンプト画面で下記のコマンドを実行する  
➤ `dpkg -i [ダウンロードしたファイル名]`

一般ユーザのデスクトップにあるショートカットはそのままご利用可能です。

### Q2. 画面切替のショートカットキーが知りたい

[Win] + [Alt] + [M] キー で、ウィンドウモードになり切り替えが可能です。

※ 機種によりデフォルトの設定ではできない場合があります。その際は、下記の設定をご確認ください。

#### 【操作手順】

1. 登録した接続先を右クリックし、接続プロパティを開く
2. [ディスプレイ]タブの「(可能な場合)デスクトップ接続に全てのモニターを使用」のチェックを外す
3. [OK]を押して保存する

### Q3. リモート画面をフルサイズにしない方法が知りたい

画面サイズを小さく変更することで、ウィンドウモードで起動することが可能です。

#### 【操作手順】

1. 登録した接続先を右クリックし、接続プロパティを開く
2. [ディスプレイ]タブを選択し、[サイズ]の解像度もしくは使用可能な領域を選択する
3. [OK]を押して保存する

### Q4. 複数接続し、画面切替をして使用したい

複数接続すると、monoPackのデスクトップ画面に接続先ごとのタブが表示されますので、接続先のタブをクリックすることで切り替え可能です。

※リモート画面をフルサイズにしないように設定してください。

#### [【リモート画面をフルサイズにしない方法が知りたい】](#) 参照

ウィンドウタイトル名は、全て「Parallels Client」と表示されます。  
ウィンドウタイトル名を変更してご利用になると便利です。

#### [【接続先のウィンドウタイトル名を変更したい】](#) 参照

### Q5. 接続先のウィンドウタイトル名を変更したい。

ウィンドウタイトル名の変更手順は下記のとおりです。

#### 【操作手順】

1. monoPackを起動し管理者でログインする
2. monoPackスタートメニューからファイルマネージャを開く
3. Parallels Clientのショートカットを右クリックし[Leafpad]で開く
4. 「Exec=・・・」と記載されている行の末尾に下記を追加し保存する

-T [フレンドリ名]

[トップへ](#)

## Q6. エラーが表示される。「エラー:86 RDP connection Failed」

設定内容を再確認し、下記についてもご確認ください。

- ・ 接続元と接続先のセグメントが同じ場合は別にすることで解消する可能性があります
  - ・ 「Standard RDP」で作成しているか
  - ・ VPNには接続されているか
  - ・ 接続先はリモート接続を許可している環境か。またはスリープ状態になどになっていないか
- また、アップデートすることにより解消する可能性がありますのでお試しください。

[【Parallels Clientアップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q7. 一度でもセッションがタイムアウトすると、再接続できなくなる

何らかの原因でネットワークが一時的に切断されると、Parallels Clientに接続できなくなる場合があります。

アップデートすることにより解消する可能性がありますのでお試しください。

[【Parallels Clientアップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q8. 社外から社内のPCにリモート接続中にたまたま切断される

何らかの原因でネットワークが一時的に切断されると、Parallels Clientに接続できなくなる場合があります。

アップデートすることにより解消する可能性がありますのでお試しください。

[【Parallels Clientアップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q9. 前日は接続出来ていたが翌日繋がらない

何らかの原因でネットワークが一時的に切断されると、Parallels Clientに接続できなくなる場合があります。

アップデートすることにより解消する可能性がありますのでお試しください。

[【Parallels Clientアップデート手順が知りたい】参照](#)

[トップへ](#)

## Q10. 誤入力などで接続できなかったときに、すぐに再接続が始まり画面を閉じることができない

パスワード誤入力で接続できなかったとき、画面上に表示されているParallels Client の[Cancel] や右上の[X]ボタンを押下しても、すぐ再接続が開始されてしまい、閉じることができない場合があります。RASクライアントが古い場合に発生する可能性がありますので、アップデートをお試しください。

[【Parallels Clientアップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q11. ショートカットキーを多用した際にRDPがよく切れてしまう

<例> [Alt]+[Enter] キー など

RASクライアントが古い場合に発生する可能性がありますので、アップデートをお試しください。

[【Parallels Clientアップデート手順が知りたい】参照](#)

## Q12. 接続先のショートカットを作成し、Windows10環境のログイン画面を表示させたい

リモートデスクトップ接続を利用すると、離れた場所にあるコンピュータからリモートログオンし、GUIベースの操作でコンピュータを利用できる状態になります。

上記により、リモートデスクトップ接続時には既にログインした状態になりますので、Windowsのログイン画面を表示させることはできません。

## Q13. ウィンドウモードにならない。[Win]+[Alt]+[M] キーが反応しない

下記の操作で解消するかご確認ください。

### 【操作手順】

1. 一般ユーザでログインする
2. Parallels Clientをダブルクリックして起動する
3. 作成済みの接続先を右クリックし、接続プロパティを開く
4. 「デスクトップ接続に全てのモニターを使用」のチェックを外し、[OK]ボタンを押して保存する
5. [Win]+[Alt]+[M] キーが有効か確認する

[トップへ](#)

## ◇リモートデスクトップ◇

### Q1. リモートデスクトップをインストールしたい

monoPack 2.1.0.2以降では、標準でインストールされていますので、アップデートをお願いします。

[【アップデート手順が知りたい】参照](#)

※リモートデスクトップの設定ファイルは初回起動時に作成されます。

管理者で初回起動を行った場合は、管理者権限でファイルが作成される動きとなり、ユーザ権限で起動時に設定を保存できなくなりますのでご注意ください。

管理者で起動してしまった場合は、下記の手順を実施してください。

[【一般ユーザで設定が保存できない】参照](#)

### Q2. 画面切替のショートカットキーが知りたい

[Ctrl] + [Alt] + [Enter] キーで、ウィンドウモードになり切り替えが可能です。

### Q3. マルチモニタにできない

リモートデスクトップの[設定]ボタンを押下し、「マルチモニター」にチェックが入っていることを確認してください。

### Q4. 一般ユーザで設定が保存できない

リモートデスクトップの設定ファイルは初回起動時に作成されます。

管理者で初回起動を行った場合は、管理者権限でファイルが作成される動きとなり、ユーザ権限で起動時に設定を保存できなくなります。その場合は、下記の手順を実施してください。

【操作手順】

1. 管理者でログインし、monoPackスタートメニューからファイルマネージャを選択する
2. 下記ファイルを削除する  
/opt/rdp/connect.conf
3. 一般ユーザで再ログインし、リモートデスクトップを起動し設定する

[トップへ](#)

## Q5. 繋がらない、接続エラーになる

下記をご確認ください。

- ・ 接続先PC（Windows側）では、「リモート接続」を許可しているかご確認ください
- ・ 接続先PC（Windows側）のログイン時、パスワードを設定しているかご確認ください
- ・ 接続先PC（Windows側）では、スリープ解除がされているかご確認ください

[トップへ](#)



## ◇セキュアブートについて◇

### ※ セキュアブートの変更について ※

セキュアブートを無効にするとPC起動時の「ドライバやOSのデジタル署名のチェック」がなくなります。

そのため、万が一ウイルスなどの影響でOSが不正に書き換えられたケースでもPC（Windows）は起動してしまいます。

ご心配な場合は、monoPackご利用時のみセキュアブートを無効にしてください。

※ セキュアブートが設定できない場合、管理者パスワードを設定することで、項目が設定できる場合があります。

#### 《セキュアブートの無効化》

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-hardware/manufacture/desktop/disabling-secure-boot?view=windows-11>

注意点として、Windows BitLockerドライブ暗号化が有効になっている場合、セキュアブート設定を変更すると、Windows起動時にBitLocker回復キーを求められる可能性がありますので、事前にBitLocker設定及び回復キーをご確認ください。

※ 回復キーを忘れてしまうと、BitLocker回復画面が表示された場合にWindowsの回復ができずに初期化が必要となります。

なお、Windows11搭載PCは、セキュアブートを有効にする要件となっていますので、注意が必要です。

[トップへ](#)



日本ナレッジ株式会社

monoPack

FAQ よくあるご質問

2024年2月19日 2.0版

〒111-0042  
東京都台東区寿3-19-5 JSビル9F  
TEL : 03-3845-4781  
<http://www.know-net.co.jp/>